

めぐみイエス・キリスト教会

2018年4月1日(日) イースター礼拝
週報「通算第399号」



2018年標題聖句

使徒の働き27章22節～26節

27:22 「しかし、今、お勧めします。元気を出しなさい。あなたがたのうち、いのちを失う者はひとりもありません。失われるのは船だけです。

27:23 昨夜、私の主で、私の仕えている神の御使いが、私の前に立って、

27:24 こう言いました。『恐れてはいけません。パウロ。あなたは必ずカイザルの前に立ちます。そして、神はあなたと同船している人々をみな、あなたにお与えになったのです。』

27:25 ですから、皆さん。元気を出しなさい。すべて私に告げられたとおりになると、私は神によって信じています。

27:26 私たちは必ず、どこかの島に打ち上げられます。」

主日礼拝毎週日曜日 午前10時～11時

聖書研究・祈禱会 毎週水曜日 午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2018年4月1日(イースター礼拝)

午前10時～11時

司会 鈴木 竜実 牧師 奏楽 佐野 みゆきさん

◎礼拝プログラム

【前奏祈り】

【賛美Ⅰ】 新聖歌127「墓の中に」 p. 178

【交読文】 No.49 イザヤ書第40章 p. 918

【賛美Ⅱ】 新聖歌128「イースターの朝には」 p. 180

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.2 「復活の日の朝」

【聖書朗読】 マタイ福音書27章62節～28章4節(新約p. 56)

【祈 禱】

【説 教】 《番兵が体験したこととは?》 鈴木竜実牧師

【聖 餐 式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

●ポイント1 イエス様の十字架の周りにいた番兵とは?

※マタイの福音書27章27節～31節「総督ピラトの命令とは?」(新約p.55)

27:27 それから、総督の兵士たちは、イエスを官邸の中に連れて行って、イエスの回りに全部隊を集めた。

27:28 そして、イエスの着物を脱がせて、緋色の上着を着せた。

27:29 それから、いばらで冠を編み、頭にかぶらせ、右手に葦を持たせた。そして、彼らはイエスの前にひざまずいて、からかって言った。「ユダヤ人の王さま。ばんざい。」

27:30 また彼らはイエスにつばきをかけ、葦を取り上げてイエスの頭をたたいた。

27:31 こんなふうに、イエスをからかったあげく、その着物を脱がせて、もとの着物を着せ、十字架につけるために連れ出した。

※マタイの福音書27章54節「兵士の指揮を取ったのは？」(新約p.56)

27:54 百人隊長および彼と一緒にイエスの見張りをしていた人々は、地震やいろいろの出来事を見て、非常な恐れを感じ、「この方はまことに神の子であった。」と言った。

●ポイント2 見張りをしていた番兵のその後の行動とは？

※マタイの福音書28章11節～15節「墓で起こった事の報告」(新約p.57)

28:11 女たちが行き着かないうちに、もう、数人の番兵が都に来て、起こった事を全部、祭司長たちに報告した。

28:12 そこで、祭司長たちは民の長老たちとともに集まって協議し、兵士たちに多額の金を与えて、

28:13 こう言った。「『夜、私たちが眠っている間に、弟子たちがやって来て、イエスを盗んで行った。』と言うのだ。」

28:14 もし、このことが総督の耳にはいっても、私たちがうまく説得して、あなたがたには心配をかけないようにするから。」

28:15 そこで、彼らは金をもらって、指図されたとおりにした。それで、この話が広くユダヤ人の間に広まって今日に及んでいる。

●ポイント3 イタリヤ隊百人隊長コルネリオへの使徒ペテロの言葉から

※使徒の働き10章37節～43節「ヨッパのコルネリオ邸にて」(新約p.228)

◎先週のメッセージの概要【イエスをそこに納めた】

《今週は受難週にあたります。金曜日にイエス様は十字架につけられます。今回は十字架刑が終わった後の出来事に、目を留めて見たいと思います。

イエス様は午前9時に十字架につけられました。二人の強盗と一緒に。そして第一の夕方、午後3時にイエス様は息を引き取られたのです。

さてヨハネは、イエス様のすねの骨が砕かれなかったことを目撃します。そしてダビデによる預言の成就を書き記しています。

『主は、彼の骨をことごとく守り、その一つさえ、砕かれることはない。』

次に、ローマ兵士の一人がイエス様の脇腹を槍で突き刺すことをも目撃します。これもゼカリヤの預言の成就であることを書き記しています。

『私は、ダビデの家とエルサレムの住民の上に、恵みと哀願の霊を注ぐ。彼らは、自分たちが突き刺した者、私を仰ぎ見、その者のために激しく泣く。』

そして十二弟子の中においてただ一人、イエス様の十字架の側にいて、イエス様の死を見届けたことをはっきりと書き記しています。

「それを目撃した者があかしをしているのである。そのあかしは真実である。」

さてここで、すでにイエス様の弟子となっていたアリマタヤのヨセフとニコデモが登場します。二人は、ついに意を決して、公にその信仰を表明します。

ユダヤ議会の有力な議員ヨセフ、エルサレム神学校長ニコデモは、持っている物をすべて捨ててイエス様に従うのです。神様は不思議な導きによって、この二人を選ばれ、この二人によってイエス様は埋葬されるのです。マグダラのマリヤもイエス様の十字架の側にいた者でした。彼女も、そしてヨハネも、父なる神様が、イエス様の死と埋葬を確認させる為に、その場所にあえて置かれたのです。『彼らは、イエスをそこに納めた』と書かれた通り、主は本当に死なれたのです。十字架がなければ三日目の復活はありません。イエス様が栄光を受けられる為には、十字架を通らなければならなかったのです。》

◎お知らせ

1. 次回の礼拝は、4月8日(日)午前10時から行ないます。また聖書研究・祈祷会は、4月4日(水)午後6時15分です。
2. 鈴木師夫妻は、3月28日(水)熊本の藤平久代さんの所に行き、ホームコンサートを行なって来ました。とても良い交わりの時が持てました。感謝でした。
3. 4月3日(火)鈴木師は下妻朝拝会において奏楽と特別賛美伴奏をします。